



Pray for Rohingya

EXPECTANTLY SOWING

“彼らの故郷はどこにあるのか”

ロヒンギャ人のために祈る国際デー

2022年10月2日

『これらの人々はみな、信仰の人々として死にました。約束のものを手にいれることはありませんでしたが、はるかにそれを見て喜び迎え、地上では旅人であり寄留者であることを告白していたのです。彼らはこのように言うことによって、自分の故郷を求めていることを示しています。もし、出て来た故郷のことを思っていたのであれば、帰る機会はあったでしょう。しかし、事実、彼らは、さらにすぐれた故郷、すなわち天の故郷にあこがれていたのです。それゆえ、神は彼らの神と呼ばれることを恥とнаさいませんでした。事実、神は彼らのために都を用意しておられました。』（ヘブル11:13-16）

『こういうわけで、あなたがたは、もはや他国人でも寄留者でもなく、今は聖徒たちと同じ国民であり、神の家族なのです。』（エペソ2:19）

煮えたぎる鍋から飛び出て火の中へ

ロヒンギャ人はいま世界20か国以上に離散しています。数十年にわたるミャンマーでの迫害によって難民となり、とにかくどこでもいいから安全な所へ逃げなくてはいけなかったからです。亡命先でやっと落ち着いて暮らせると期待していたのですが、現実にはバラ色ではありませんでした。結局どこにいても危険と隣り合わせ。心を落ち着けて住める場所を見つけるのは容易ではありません。

故郷に戻ることはできるのか？

ミャンマーでの政変によりロヒンギャ人を取り巻く状況は悪くなる一方です。経済は混乱し、あちこちで内戦が激化しています。ロヒンギャ難民の帰還計画などは全く棚上げ状態です。民主派が将来的にロヒンギャ問題にも真剣に取り組むと意欲を示しているものの、暫定政権で軍が力をもっている以上これは実現するかどうかはわからない夢でしかありません。

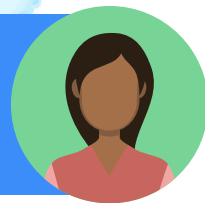
神の国の市民として

ロヒンギャ人は世界中で最も無視されている民族といわれています。どこにいても「おまえは必要ではない」と言われ続けてきました。そんな彼らを父なる神様は両腕を広げて子供として迎えたいと待っておられます。神の国の国籍を与えるために。しかもご自身の子供として祝福を相続させるために。この国籍をロヒンギャ人から奪うことは誰にもできません。



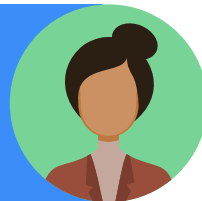
ジャラル（23歳）はマレーシアで就労ビザをもらえないままに建築現場で働いています。非合法労働にあたるため給料はごくわずかで生活は不安定です。いつ警察が踏み込んできて捕まるかという恐怖があり、狭いコンテナハウスがひしめき合うスラムの一角で外にもでず息をひそめて暮らしています。

ハビバ(17歳)はサウジアラビアの裕福な家庭で家政婦をしています。365日、朝4時から夜11時まで休む間がありません。しばしば家の主人が彼女に性暴力を加えます。その妻は彼女を殴ったり蹴ったりします。警察にいてもロヒンギャ人は助けてもらえないと彼女は知っています。彼女は一体どこへ行ったらいいのですか？



マハムド(56歳)はバングラデシュで難民キャンプの小屋で暮らしています。2017年にミャンマーから逃げるときに銃で打たれた傷がうずき、歩くことができません。仮小屋の前に座っていると遠くに故郷ラカイン州の山々が見えます。そこではひどい暴力を受けたけれども、ラカイン州はマハムドにとってやはり懐かしい故郷なのです。生まれ育った村に帰りたい、そこで死ぬまで暮らしたいという思いで胸がいっぱいです。

ミナラ(35歳)のように西側諸国へ移民できたロヒンギャ人はラッキーな少数派なのに、彼女は今落ち込んでいます。イギリスの小さな町で安全な暮らしができ近所の人たちも親切なのに。それでも異国での言葉の壁、食文化の違い、祖国ミャンマーと比べて寒すぎる気候が気持ちを落ち込ませているようです。時間さえあればミャンマーやバングラデシュに残っている親戚と長いビデオ通話をして過ごします。それで気持ちが軽くなるというよりは、ますます孤独感になってしまうのに。



祈っていただきたいこと

難民生活をするロヒンギャのため

- ・ 国外に出たことでイエス様のことを聴くチャンスがあった人もいます。そのことを感謝したいと思います。
- ・ 亡命先の国々で歓迎を受けなかったロヒンギャ難民のために祈りましょう。違法滞在という理由で突然逮捕されることもあり、暴力や搾取におびえています。
- ・ 亡命先で安全と庇護が受けられるように。働いたら給料がきちんと支払われ、ロヒンギャ人の子供たちが勉強の機会を与えられますように。
- ・ 精神的ケアのため。故郷が恋しくてうつ状態になったり、暴力を受けた記憶におびえている人たちが本当にたくさんいます。
- ・ キリストご自身が聖書の言葉をとおして彼らに会ってくださるように。我々も近所のロヒンギャ人に心を向け祈り行動できるように。神様の愛がロヒンギャ人に届けられるように。

ミャンマーに残ったロヒンギャ人のため祈りましょう。

- ・ ラカイン州は以前と比較して少し穏やかです。感謝します。
- ・ ミャンマーに残ったロヒンギャ人が、なんとか安全に日々生きていくことができるように。
- ・ ミャンマーでの暴力が止みますように。正義がなされますように。争いに平和的解決が見つかりますように。
- ・ ロヒンギャ問題がきちんと向き合われ解決に向かうように。難民として国外に亡命した人々もいつの日かミャンマー国民であると堂々と誇りをもって宣言できる日が来ますように。
- ・ ミャンマーに残るロヒンギャ人の中にはイエス様にであった兄弟姉妹がいます。彼らのために祈ってください。彼らを励ますために現地に移住した別の民族の兄弟姉妹たちもいます。このコミュニティが励ましあい共に進めますように。

天の故郷を仰ぎながら

- ・ 主はロヒンギャ人にも永遠の故郷を約束し、子としてくださるほどに愛してください。驚くほどの主のめぐみをほめたたえましょう。
- ・ 過酷な暮らしを強いられている彼らではありますが、物質的必要以上に霊的なうえ渇きが与えられますように。どんな状況にあっても心に平安があり御国への帰属意識が彼らを支えますように。
- ・ ロヒンギャ人でありつつキリスト者であることは非常に困難なことです。この兄弟姉妹が信仰にかたく立ち、塩となり光となってロヒンギャ・コミュニティの中で生きていく力が与えられますように。
- ・ 世界中のキリスト者が、自分の住んでいる場所でロヒンギャ人にキリストを伝えていくことができますように。たとえば友達になること、親切な行いをすること、生活を整える助けをすること、みことばを伝えることによって。

